

News Release

当社社員の確定拠出年金制度の活用実績について

株式会社キャピタル・アセット・プランニング（本社：大阪市北区、代表取締役社長：北山雅一、以下「当社」）は、金融リテラシーの向上のために実施してきました社員向け金融教育の成果指標として、社員の確定拠出年金制度の活用実績をまとめました。

2022年11月に新しい資本主義実現会議で資産所得倍増プランが決定され、企業における従業員の資産形成や経済的な安定を支援するファイナンシャルウェルネスへの取り組みは、従業員エンゲージメントの向上をもたらし、長期的に企業価値向上に資するという考え方が示されました。

当社は、個人資産の最適なアセットアロケーションと次世代への不安無き移転を実現する、即ち「ファイナンシャルウェルネス」を実現するためのプラットフォームを創造することをパーパスに掲げており、それに沿って2001年より大手金融機関向けに確定拠出年金システムを受託開発し、提供しています。

一方、社員に対しても、システム開発スキルだけでなく金融教育にも力を入れており、当社の企業型確定拠出年金に係る社内研修を通じて、投資信託の運用の仕組みや商品の特徴、適切な金融商品の利用選択に関する知識や世界分散投資の重要性等、金融リテラシー教育を毎年継続的に実施し、社員の将来の資産形成を支援してまいりました。即ち、自社で開発したシステムを加入者として社員自らの豊かな老後の実現のために活用しています。

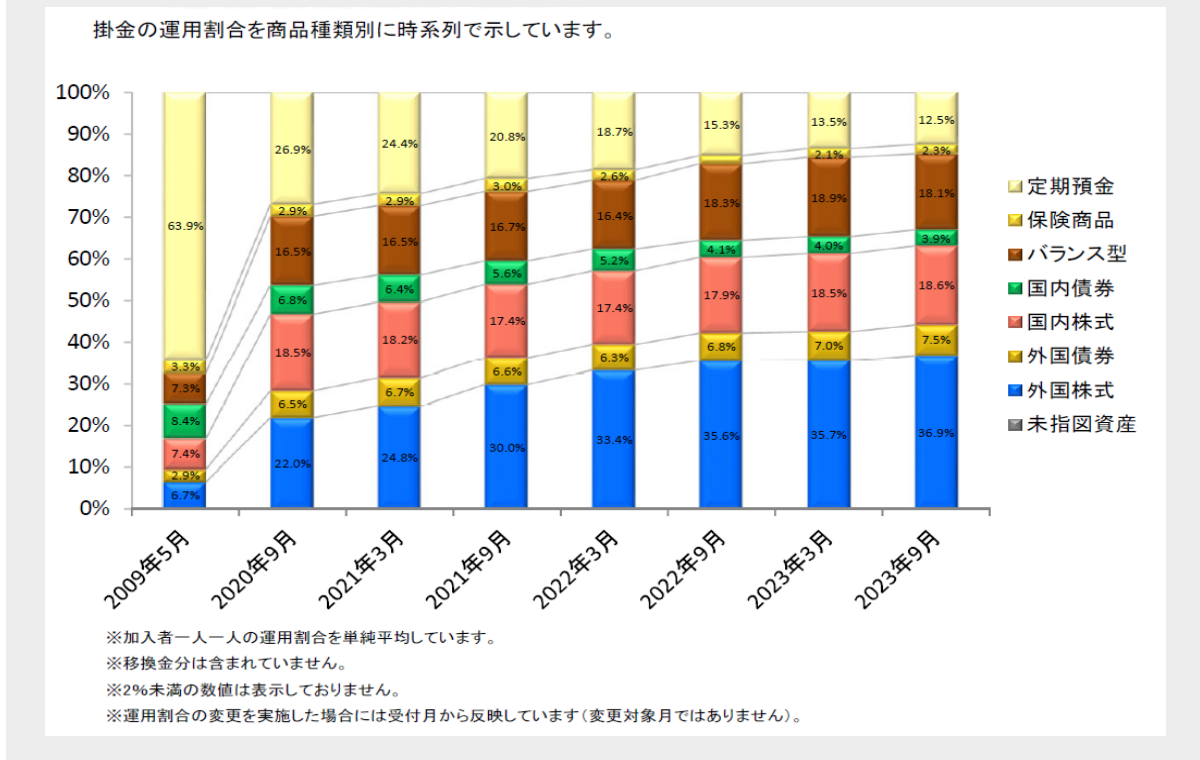
これまでの社員に対する金融リテラシー教育の成果を確認するために、当社社員が加入している確定拠出年金の活用実績をまとめてみた結果、以下の点が明らかになりました。

- 継続して実施している金融教育の結果、当社社員の確定拠出年金での運用においては、株式比率が64%、外国資産比率が53%と世界分散投資が実現しつつある
- 拠出開始以来の運用益は、年率8.5%、過去1年間の運用利回りは14.9%に上っている
- 拠出開始以来の社員の運用利回りは、平均値8.5%、中間値7.9%であった

この結果より、金融リテラシーの向上はクライアントである銀行・証券会社への質の高い提案が可能となるだけでなく、社員自身のアセットアロケーションの最適化の実現にも繋がっていることが確認できました。キャピタル・アセット・プランニングは、今後も社員に対する金融リテラシー教育を推進し、ファイナンシャルウェルネスの実現に向けて貢献してまいります。

【参考資料】

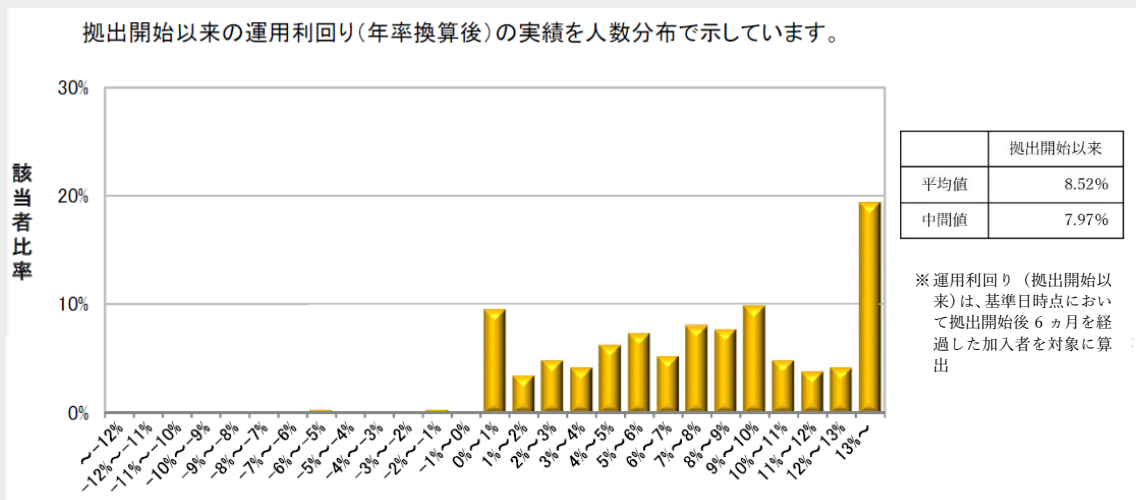
【図表 1】 運用割合推移（掛金）



【図表 1】 は従業員全員のアセットクラス別の運用割合の推移を表わしている。2023 年 9 月末時点では、株式比率が 64%、外国資産比率が 53%と世界分散投資が実現できつつある。

【図表 2】 運用利回り（拠出開始以来）

2023 年 9 月末現在



【図表 2】 は社員全員の拠出開始以来の運用利回りであり、平均値が 8.5%、中間値が 7.9%であった。